

平成 17 年 10 月 26 日

委員長コメント

1. 今回の報告期間は平成 17 年 7 月 4 日から平成 17 年 10 月 2 日までの約 3 か月である。
法定報告に基づく新規 H I V 感染者報告数は 205 件（うち男性 190 件、女性 15 件。前回報告 171 件）で、前年同時期の新規 H I V 感染者報告数は 209 件である。
一方、新規 A I D S 患者報告数は 89 件（うち男性 85 件、女性 4 件。前回報告 89 件）で、前年同時期の新規 A I D S 患者報告数は 126 件である。
2. 感染経路別に見ると、新規 H I V 感染者では同性間性的接触によるものが 118 件（全 H I V 感染者報告数の約 58%）と最も多く、そのうち 116 件が日本国籍男性であった。
また、異性間性的接触による新規感染者報告数は 55 件（全 H I V 感染者報告数の約 27%、うち男性 47 件、女性 8 件）である。
一方、新規 A I D S 患者では同性間性的接触によるものが 34 件（全 A I D S 患者報告数の約 38%）、異性間性的接触によるものが 35 件（全 A I D S 患者報告数の約 39%、うち男性 31 件、女性 4 件）となっている。
年齢別では、新規 H I V 感染者は 20～30 代が多数（約 64%）を占め、新規 A I D S 患者は 30～50 代と広く分布している。
要約すると、感染者・患者とも 90%以上を男性が占め、その中でも同性間性的接触による感染が半数以上（約 55%）を占めている状態である。
3. 平成 17 年 1 月から 9 月末までの保健所等における H I V 抗体検査件数は 70,504 件（前年同時期 60,452 件）、相談件数が 95,065 件（前年同時期 100,761 件）であった。
4. 平成 17 年 1 月から 9 月の献血件数（速報値）は 4,048,589 件（前年同時期 4,097,758 件）で、そのうち H I V 抗体・核酸増幅検査陽性件数は 53 件、10 万人当たりの陽性件数は 1.309 件（前年同時期 1.781 件）であった。
5. 新規 H I V 感染者報告数、エイズ患者報告数は今回の報告においても、依然として高い水準で推移していると言える。このため、国民は感染の機会が増えつつあることに留意して、H I V・A I D S についての理解を深め、積極的に予防や H I V 抗体検査の早期受診に努めていただきたい。都道府県等においては、必ずしも利便性に配慮した検査体制を確保していないところもあることから、12 月 1 日の世界エイズデーの機会も活用しながら、早期の検査受診体制の整備を含め、利便性に配慮した検査・相談事業を一層推進するとともに、地域の実情に応じて対象者を明確化して重点的な普及啓発等を推進し、H I V 感染の早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努める必要がある。